

# 非常用備蓄品「白い小箱」

## 箱詰め作業手伝う

津の就労  
支援事業所 セントヨゼフの生徒

【津】津市半田のセントヨゼフ女子学園の生徒が三十日、同市海岸町の就労移行支援事業所「ふらっと・つら」を訪れ、非常用備蓄品「白い小箱」の箱詰め作業を手伝った。

「白い小箱」は水や非常食など帰宅困難時用の備蓄品を入れた段ボール箱で、四日市市の日本非常食推進機構が販売。箱詰め作業と納品を県内の障害者就労支援施設などに依頼しており、一個につき五十円の工賃が支払われる。

非常時の備蓄と社会福祉の趣旨に賛同した同学園で納入が決まり、この日は呼び掛けに応じた高等部一年生七人が、利用者六人の箱詰めを手伝った。

「白い小箱」の箱詰めをする生徒と利用者ら＝津市海岸町の「ふらっと・つら」で



生徒と利用者は段ボールの外箱を組み立て、ペットボトルの水や缶入りパン、簡易トイレなど八品を詰め、一時間ほどで約六十個を仕上げた。同学園の浅野菜那さん(右)は「集中力が要る地道な作業で、ちゃんとできていてすごいと思う」と感想を話した。